

ー **首都圏中央連絡自動車道の茂原長南インターチェンジ（仮称）**  
**～木更津東インターチェンジ間の開通目標年度を見直します。** ー

**記者発表資料**

国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の茂原長南インターチェンジ（仮称）～木更津東インターチェンジ間については、平成13年度から用地買収に着手し、多くの地権者のご協力を得て、まとまった用地が取得出来た箇所から順次工事を進めてきましたが、用地取得の見通しが立てにくいものであったことから、平成20年11月に土地収用法に基づく事業認定の申請を行い、平成21年8月に事業認定の告示がなされました。

これまでに、約96%（※）の用地を取得しているものの、引き続き土地収用法の手続き等による用地取得に向けた取り組み、橋やトンネルなどの工事、埋蔵文化財の調査を進めているところですが、以下の事由が生じたことにより、平成22年度の開通目標の達成が困難なため、開通目標を平成24年度に見直します。

（※）先行2車線整備に必要な起業地面積を対象

- 当初予定していた土地収用手続きに遅れが生じていること。
- 当初予期していなかった埋蔵文化財調査対象が発見されたこと。

平成21年12月24日

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所  
 東日本高速道路株式会社 関東支社 木更津工事事務所

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
千葉県政記者会	千葉市政記者会	茂原記者クラブ
市原市記者クラブ	木更津記者クラブ	
問合せ先		
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所		
電話 043-287-0311(代)	副所長 <small>くぼた たつや</small> 窪田 達也	
東日本高速道路株式会社 関東支社 木更津工事事務所		
電話 0438-22-5210(代)	副所長 <small>こじま ひとし</small> 小島 均	

## 路線の概要

国道468号首都圏中央連絡自動車道（通称：圏央道）は、都心から半径約40～60kmの位置に計画されている延長約300kmの自動車専用道路であり、都心から延びる放射状の道路を繋ぐことにより、都心への交通を分散し、渋滞の緩和が図られます。

また、成田・茂原・木更津などの都市を連絡し、生活における行動範囲を広げると共に、災害時などにおいて消防・救急活動などの速やかな対応を図るための緊急輸送路としての役割も担います。

- これまでに、茂原長南インターチェンジ（仮称）～木更津東インターチェンジ間の起業地面積のうち、約96%の用地を取得しています。



※ 未開通区間のIC、JCT名（東金IC・JCT、茂原北、茂原長南、市原南）は仮称。

- 当該区間における土地収用手続きと開通までの主な流れは下図のとおりです。

- 開通までの流れ

